

公益社団法人湖南省シルバー人材センター

2020年度 事業報告

2020年4月1日 から2021年3月31日

1. 事業概要

新型コロナウイルスの急激な広がりを受け、世界をはじめとして我が国においても緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用され、雇用情勢や社会経済に大きく影響を及ぼす甚大なる事態に見舞われた年となりました。

シルバー人材センター事業に対して、年度当初から感染症対策を講じながら状況に応じた取り組みを進めてきました。

しかし、重点取り組み事項として挙げていた会員の増員、また会員を取り巻く環境整備等の推進では人と人との集まりや外出の制限などからイベントや研修会の開催の中止や縮小が相次ぎ、活動が出来ない結果となりました。

また就業機会の拡大においても市内の企業・事業所と連携しながら調整を進めてきましたが、新型コロナウイルスが大きな影響を及ぼす事態となり契約額が大きく下回る結果となりました。

安全就業については、2020年度において重篤な事故はなかったものの、草刈り機による飛び石事故の物損3件、傷害1件の事故が発生しました。特に草刈り機による事故は大丈夫だろうと安易に考え作業をした結果、事故にいたっているということもあり今後も原因を分析し、安全就業における研修会や啓発などを行い意識の徹底を図ってまいります。

たいへん厳しい社会情勢のなかで公益社団法人として社会的役割、法令遵守の観点から事業運営に努めてきましたが契約金額では前年度比-5.6%、会員数は3月末現在で約30人の減少という結果となりました。

今後当センターでは、この様な時期だからこそ役職員が一体となり、会員相互の連携を深め、個々の能力を活かした事業運営となるよう、引き続き取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

なお、事業実績対前年度対比の詳細については下記のとおりです。

項 目	4月~3月の実績	前年同期間	増 減	伸び率
正会員数	494 人	530 人	-36 人	93.2%
就業実人員	419 人	437 人	-18 人	95.9%
就業延人員	43,192 人	47,479 人	-4,287 人	91.0%
契約額	221,826,355 円	235,010,631 円	-13,184,276 円	94.4%

※ 派遣事業含む

2. 事業実績

(1) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供活動

湖南省、ハローワーク甲賀をはじめとする関係機関・団体や民間企業、民間団体及び一般のご家庭等から高齢者の就業に関する情報を収集し、電話、就業情報紙、就業情報掲示板（シルバーワークプラザ玄関）及び毎月発行する事務局だよりを通じて、会員に組織的に提供して事業の発展に努めました。また、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という）・公益社団法人滋賀県シルバー人材センター連合会（以下「滋賀県連合会」という）等への参画や他市町のシルバー人材センターとの連携による情報交換により、高齢者の就業に関する情報を収集し、会員に組織的に提供して事業の質的向上と量的拡大に努めました。

(2) 就業に関する調査及び研究

今年度については、全国的にコロナウイルスの影響で全シ協・滋賀県連合会が実施する各種会議・研修会がリモートによる会議になり、各種研修会等も中止になるなど、例年のような活動ができませんでした。

(3) 高齢者に対する就業相談の実施

入会を希望する高齢者を対象にした月2回の入会説明会や会員を対象とした就労相談を実施しました。

また、全会員を対象に月1回の事務局だよりによる「就業情報」を提供し、未就業者の解消に努めました。

(4) 就業機会の確保及び提供

①受託事業

コロナ禍の中でも、地域社会に密着した臨時的かつ短期的な仕事を一般家庭、民間事業所及び公共団体等から請負又は委任の形式で引き受けるために、会員をはじめ役職員一丸となって事業を推進した結果、本年度における請負・委任契約の事業実績は、契約金額において108,581,287円となり、前年度と比較して約16.1%の減、契約件数1,292件、就業実人員279人、就業延人員22,010人日、年度末における会員数は、494人（男321人、女173人）となりました。

②自主事業と地域就業機会の創出・拡大事業

自主事業については、地域に貢献できるよう竹炭と刃物研ぎの事業を実施してきましたが自主事業ができる会員が不足しており事業の拡大には結びつきませんでした。

また、今年度から新たに実施している空き家管理事業については、湖南省空き家サポートセンターあきやナクスとの協定に基づき2件ではありますがサポートの依頼があり空き家管理をしました。介護関連事業はなかなか需要の要望がなく今後も市と連携し取り組みを進めてまいります。

③シルバー派遣事業

滋賀県連合会が実施している「労働者派遣事業」を活用して、高齢者の多様な就業ニーズに応えるための就業形態の選択肢を増やすとともに、事業の適正化ならびに法令遵守を推進しました。

結果として、契約金額113,245,068円、契約件数79件、就業実人員209人、就業延人員21,182人日となりました。

(5) 安全・適正就業の徹底

安全・適正就業は、シルバーセンター事業の最優先課題であり、会員が事故の防止や健康管理に努めなければなりません。このため安全・適正就業委

員会を中心に、会員の安全就業（安全講習会等）、健康管理（月1度の卓球教室など）及び適正就業の推進に努めました。

しかし、本年度では物損事故3件、傷害事故1件が発生しました。いずれも日頃の慣れによる過信が要因していることから、今後も安全就業に対する取り組みを強化し、事故ゼロを目標に事故撲滅に努めてまいります。

また、厚生労働省が示している「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を活用して、発注者に対してシルバー人材センターにおける働き方について周知し、会員に対しては周知と必要に応じて研修や面談による説明を実施する等、今後も適正就業の推進に努めてまいります。

(6) 組織の充実と経営及び運営基盤の整備

①会員の経験及び知識・能力を活用した運営

事業の企画・運営及び各種会議等参加（リモート含む）に努めました。

②理事会等の充実

理事会・専門部会へ適時適切な情報提供（特にコロナ禍による情勢等）をして課題意思を共有し、充実しました。

③財源確保

湖南省に要望するなど、滋賀県連合会その他の関係団体との連携により例年通りの補助金を確保しましたが、受注については保育園の民営化などにより受注件数が減りました。

④女性部会の創設

女性部会を開催し女性会員の勧誘等についての具体的な話をし、広報1月号において女性勧誘の具体的なお知らせを掲載し活動の第一歩を踏み出しました。

また、女性会員による講座等の開設を目指し、女性部会による近隣市への研修会を実施しました。

⑤事務処理の集中化・適正化の推進

業務の事務処理の効率化と経理事務の効率化・適正化の推進に努めました。公益法人としての社会的な役割と責任を意識し各種法令遵守に努め、適切な事業運営に努めました。